

賀老山 (662m) 山行記録

山行日 令和7年 1月19日(日曜日)
参加者 (CL) Fj木 Nis田、Oi川、Ue杉、Su田
(15名) Osa内、Oo田、Ss山、Saw田、Ye樫、Mz江、U田、Sk井、Uc山、Wtn邊
天候 午前薄曇り時々太陽・無風 午後曇り時々雪
時間 伊達道の駅 集合 6:30 現地P着 8:00 ⇒ 山行時間下記 ⇒ 伊達解散 15:30

本日の山行は日帰り組5人とピリカー泊組10人、15名の参加です。自分はR4-1月の559m途中撤退のリベンジで、今年も親切な農家さんに駐車させて頂き(四国讃岐からの移住された方かな?)長く立派な林道をスタート。歩いて35分橋を渡り急な斜面に取付く。今回は賀老川に沿った作業道を大きく迂回して尾根に取付いたが距離で1.5km、時間で40分の短縮だった。
又、途中で危険な雪崩斜面が有り1人ずつ通過したが今回は林の中を登り安全でリーダーのナイス判断です。積雪は70cmで前回の2mより少ないが(O女測定)木々のオブジェが面白い。前回撤退の559m地点を軽くクリアーし賀老山頂上へ、標識、看板は無く、GPSで山頂を決める。予定時間通り。冬山の天候は変わり易く雪が降り始めるが雪上で昼食、下山の準備する



長い林道の先に賀老山がかすかに見える



日差しを受けたオブジェを見ながら進む

時刻	場所・状況・行動
8:25	登山開始 ~林道歩き
9:00	林道橋 山壁取付き点
10:20	上段作業道 430m
11:40:~12:10	頂上着 昼食 下山開始
12:45	424m地点 滑走面へ
13:05	林道橋
13:25	登山口着
登山Hr 除昼食 ()林道歩き	登り 3-15分 (35分) 下り 1-15分 (21分)



滑走面20~30cmはパウダーまでではないが軽い雪質で滑りには絶好のコンディション。頂上からは林間(疎林)、所々急なスロープ等、なかなか滑り応えのあるコースで、スラロームの得意の人、小回りの得意な人等々それぞれに充分楽しめた。頂上から軌跡ルートを通り滑走30分、424mポコから方向を変えオープンバーンを滑り降りる。ここもリーダーのナイスチョイス。少し難儀をする人もいたが全員無事林道橋迄の50分間満足スキー滑走でした。予定より1時間早く下山、遅くには天候悪化の予報の中、崩れる前に駐車場に戻ることが出来た。この山は低山ながら雪質も良く斜度も程々で又行きたいと思う山です。ただ雪崩に気を付けてリーダーお疲れさまでした。

(記 Nis田)



駐車場から幌別岳、天狗山を見る